ナンバリング	授業科目名(科目の英文名)					区分・【新主題】/(分野)	授業形式						
AM11Z102	情報科学 (情報科学) *大分を創る科目(Oita Development Course)					基礎教育科目 導入・転換	対面						
必修選択	単位	対象年次	学部	学期	曜・限	主に使用する言語	その他に使用する言語	担当形態					
必修	1	1	医学部看護学 科	前期	月4	日本語		複数(共同)					
担当 教員	氏名 谷川雅人, 安徳恭彰 E-mail tanigawa@oita-u.ac.jp, antokuy@oita-u.ac.jp 内線 5603, 5162												
授業 の 概 要	情報科学の基礎として、情報、確率論とその応用、基本分布、資料の整理、標本分布、推定論および検定論について理解する。また、エクセルを用いたデータ整理ができる。また、医療情報の基礎として、セキュリティや医療現場で使われる情報システムについても理解する。												
具体的な到達目標	DP等の対応(別表参照)						1	2	3	4	5	6	7
目標1	データ収集および処理の基礎の習得を目標とする												
目標2	医療情報の基礎として、情報セキュリティや情報システムについても理解する												
目標3	統計の基礎の習得												
目標4	エクセルを用いた簡単な統計処理												
目標5	地域保健データの見方												
目標6													
目標7													
目標8													
目標9													
目標10													
各DPへの関連度(計10)							3	1	2	1	1	2	
授業の内容													
1	尺度と度数分布と代表値												
2	散布度												
3	情報科学とは												
4	相関と回帰												
5	確率・順列・組み合わせ												
6	情報セキュリティ												
7	確率分布												
8	母集団統計値の推定												
9	医療現場における情報セキュリティ												
10	仮説検定												
11	分散分析法												
12	医療と情報システム												
13													
14													
15													
ラ ア ク ニ テ ン イ グ ブ	A:知識の定着・確認	moodleを利用した双方向性授業を行う。					工 夫 そ の 他 の	課題や出席確認もmoodleを利用して行う。					
	B:意見の表現・交換												
	C:応用志向												
	D:知識の活用・創造												
授 業 時 間 外 学 修 の 内 容 と 想 定 時 間	準備学修	教科書や事前配布資料を読んで予習が必要である(8h)											
	事後学修	問題を自分で解いて内容を復習する(8h) Moodleで課題を期日までに提出する(8h)											
	想定時間合計	24											
教科書	やさしい保健統計学 懸俊彦(著) 南江堂												
参考書	ていねいな保険統計学 白石亮吉、鈴木研太(著) 羊土社 まずはこの一冊から 意味がわかる統計学 石井 俊全(著) ベレ出版												

成績評価の方法及び評価割合	評価方法	割合	目標1	目標2	目標3	目標4	目標5	目標6	目標7	目標8	目標9	目標10
		期末試験	70%									
	授業中の課題など	30%										
注意事項	講義でmoodleを使用しますので、ノートパソコンなどの通信端末を持参して下さい。谷川の担当する授業はと安徳の担当する授業では講義教室が変わりますので注意して下さい。											
備考	データサイエンス入門の内容を理解していることを前提として授業を行うところもありますので、オンデマンド授業のデータサイエンス入門を日程通りに学習してください。											
リンク	URL											
担当教員の 実務経験の有無												
教員の 実務経験	情報処理安全確保支援士（安徳 恭彰）											
実務経験を いかした教 育内容	最新事情を考慮したセキュリティ教育を行う。											